

## EXERCISE RULES VOL.4

3x3 ルールエクササイズ vol.4  
(2020年9月1日配信)QUESTION  
16

ゲームクロック残り2:05、チームA・チームBともに20点、チームBのチームファウルが4個の状況で、2ポイントフィールドゴールのショットの動作中のA1にB1がアンスポーツマンライクファウルをして、ショットは成功した。審判はチームAに2点を認め、さらに2本のフリースローをA1に与えた。A1は2本のフリースローを成功させ、チームAの得点が21点を超えたことから、審判はゲームの終了を宣した。スコアシートには最終スコアとしてチームAに24点、チームBに20点が記録される。(○/×)

QUESTION  
17

ショットクロック残り5秒で、A1がショットを放ち、ボールがリングに弾んだ。リバウンドのボールをB2が空中でキャッチし、床に降りた。着地したあと、A2がB2の持つボールを掴み、審判はヘルドボールを宣した。ゲームはチームBのチェックボールで再開され、ショットクロックは12秒となる。(○/×)

QUESTION  
18

各チームには30秒間のタイムアウトが1回ずつ認められ、競技時間中に使わなかったタイムアウトはオーバータイムに持ち越すことができる。(○/×)

QUESTION  
19

A1がゴール下でショットを放ち、成功した。B1はノーチャージセミサークル内でボールを保持したが、同じくノーチャージセミサークル内にいたA1がそのボールをスナップした。ボールはアークの外側に転がり、A3がボールを保持した。審判はA1がボールをスナップしたのは、チームBがボールを保持した後であることから、ゲームを続行した。(○/×)

QUESTION  
20

ゲームクロック残り9:03で、チームAはチェックボールでディレイオブゲームの警告を与えられた。その後ゲームクロック残り6:45で、B1のフィールドゴールが成功したあと、A1はすぐにボールを取れる状況であったにもかかわらず、ボールを取るうとしなかった。審判はチームAにショット成功後のボールを取らない行為に対するディレイオブゲームの警告を与えた。(○/×)

今回のルールエクササイズの解答と解説は、【3x3 ルールエクササイズ vol.5】(2020年10月1日配信予定)とともに配信いたします。

JBA公式ホームページでは、競技規則、JBAプレーコーリング・ガイドライン、ルールテスト問題集などをご確認いただけます。  
<http://www.japanbasketball.jp/referee/>